

実践例 県立佐野高等学校附属中学校

教科・科目等 道徳 異文化の人々と共に生きる（1 学年）

本時の目標

異文化を社会の中の多様性と捉え、相互理解の大切さを知る。

育てたい資質・能力等

異文化を社会の中の多様性として捉える。（判断力、感受性）

教材 教科書、ワークシート、スライド

展開

- 本校の特徴の、佐野・足利・栃木市のさまざまな小学校から進学してくる点を生かし、「組み分けじゃんけん」のかけ声が出身校によって違うことで文化の違いが身近であることを確認する。
- 教科書を読んで、「文化に関わらず、考えのすれ違いは起きること」「文化が原因で考えのすれ違いが起きることがあること」を確認する。
- どうすれば異文化の人々と共生できるか考えてワークシートに書く。
- 組み分けじゃんけんのかけ声を揃えるときにしたことと共生のコツはあまり変わらないことに気付く。



生徒の意見・感想

- 外国の文化が怖いと感じることのある生徒がいたが、国ではなく個人を見て接したいと思うようになった。
- すれ違いがあってもすぐに怒らずに、相手と対話することで思いやりや考えをすり合わせて生きていきたいという意見に賛同する生徒が多く見られた。